

「外回転術」を受けられる患者さんへ

*この予定表はおおよその目安です。患者さんの状態等により予定が変更になることもありますので、ご了承ください。なお、分からないことがありましたら遠慮なくスタッフにご相談下さい。

様

主治医

	月 日(処置当日)		月 日
	処置前	処置後	1日目
普通の経過	処置について理解でき、準備が整う	子宮収縮・出血・破水が起こらないよう経過することができる。 子宮収縮・出血・破水感があるときには看護師に伝えることができ、苦痛なく過ごせる。	
診察		 医師が腹部エコーで胎児の状態を確認した後、病室に戻ります	 朝、医師による診察があり、問題がなければ退院となります
処置 投薬 治療	 子宮収縮抑制剤の点滴を開始します 赤ちゃんの心音とお母さんのお腹の張りをみるモニターをつけます	 処置後も子宮収縮抑制剤の点滴は継続します。点滴速度は医師の指示で変更することもあります 赤ちゃんの心音とお母さんのお腹の張りをみるモニターをつけます。	   医師の指示の元に子宮収縮抑制剤の点滴を抜き、内服に変わります 赤ちゃんの心音とお母さんのお腹の張りをみるモニターを歩きながらつけます
説明 指導	 看護師が処置前後の説明をします 処置に向けて準備をしていきます		 看護師よりモニターに関する説明があります 診察後に次回の外来予約について説明があります
トイレ	 尿を我慢してもらい、たまったら処置に入ります	 制限はありません	
安静	 動いてお腹が張る様な場合は看護師に連絡して下さい	 動いてお腹が張る様な場合は看護師に連絡して下さい	
食事	 水を多量に飲み、尿を溜めます 入院後は許可があるまでは食事をしないで下さい	制限はありません	自分で運転して帰らないようにしましょう。 退院後も次回外来までは無理せずに過ごします。 
入浴	 自宅ですべて入浴してもらって構いません	 外回転後のモニターで張りが落ち着いていればシャワー浴が可能です	 制限はありません。